東大野球部 メールマガジン

New！

Vol.90

ごあいさつ

長い冬もいよいよ終わりに近づいてきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

東大野球部では２３日から福岡合宿が始まり、選手は寝食を共にし、野球漬けの日々を送っております。福岡、そして静岡でもオープン戦が行われますので、お近くにお住まいの方は是非足をお運びください。

今後とも東大野球部を宜しくお願い致します！

今後の日程

〈合宿〉

２月２３日～３月３日　福岡合宿@リョーユーパン野球場

３月３日～７日　静岡合宿@清水庵原球場

〈春季オープン戦〉

２月２６日　13:00～vs 熊本大@川上哲治記念球場

３月　１日　10:30～、13:00～　vs 西南学院大@西南学院大Ｇ

２日　10:30～、13:00～　vs 九州共立大@九州共立大Ｇ

６日　10:30～、13:00～　vs 東海大海洋学部@清水庵原球場

１０日　13:00～vs 東京農業大@東京農業大Ｇ

１１日　13:00～vs 専修大@東大球場

コンバート論

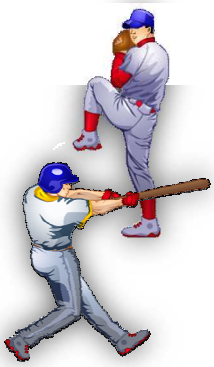
今回のメルマガではコンバートを体験したことがある選手に、ポジションを変えた当時の心境や現在の思いを聞いてみました！

☆内野手→投手

毛利拓樹（新４年・投手・横浜翠嵐）

僕は高校まではほとんどサードをやっていて、３ヵ月ほどピッチャーを兼任したことがある程度でしたが、大学から本気でピッチャーを始めました。打つより投げる才能の方があるのではないかと思ったからです。

やはりピッチャーは試合を大きく動かすことができるというのが良い点です。逆にその分プレッシャーも倍増し、辛い思いも多く経験しました。ただ自発的にしろ強制的にしろ、コンバートは自分の視野を広げてくれると思います。



☆内野手→外野手

阿加多　優樹（新３年・外野手・学芸大附）

僕は１年生の秋に内野手から外野手へコンバートしました。きっかけは当時助監督だった黒岩さん（Ｈ２１年卒・須坂）に勧められたことです。野球を始めてから内野手一筋だったので戸惑いもありましたが、暫定的に転向を決めました。

外野手は思っていたよりもずっと難しく、特にフライはかなり練習してようやく捕れるようになりました。コンバートの結果、試合にも出られるようになり、今では本当に良かったと思っています。何より自分の野球観が広がり、より一層野球というスポーツに引き込まれました。

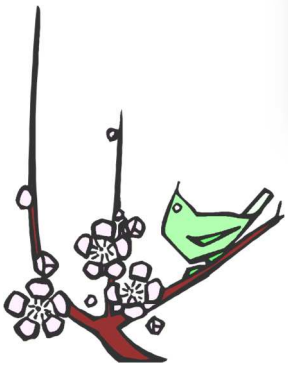
☆投手→外野手

横田　悠天（新２年・外野手・学芸大附）

僕は昨秋にピッチャーから外野手へ転向しました。入部したての頃もピッチャーでいこうか外野手でいこうか迷っていたのですが、その時はやっぱり元々大好きだったピッチャーをやりたいと思ってピッチャーをやることに決めました。しかし、挫折してしまいました。普通はシュート回転するはずのストレートが、僕の場合はなぜかスライダー回転したりしていました。

今は外野手という、今までの人生でやったことのないポジションですが、それだけに新しい発見があって新鮮な気持ちです。

編集後記



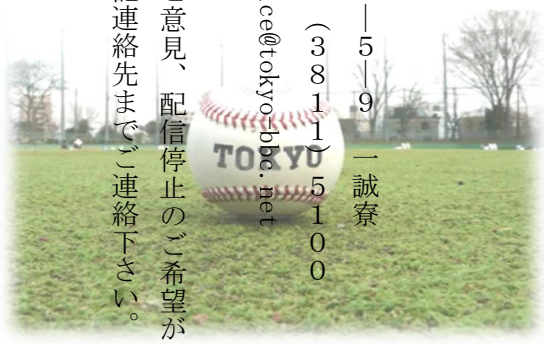
今回の特集はいかがでしたか。

３人の選手に共通するのは、コンバートを「自分の可能性を広げてくれたもの」と捉えている点でしょう。新しいポジションになるにあたって戸惑ったこともありますが、それぞれが戦力となるべく練習に励んできました。

いよいよ春季オープン戦が始まります。合宿先、そして東大球場へお越しいただき、一冬超えて成長した東大野球部の姿をご覧ください。

今後とも温かいご声援をよろしくお願い致します。

お問い合わせ先

〒１１３―００２３
東京都文京区向ヶ丘１―５―９　一誠寮
ＴＥＬ＆ＦＡＸ　０３（３８１１）５１００
メールアドレス　office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。